

I 経営の重点に関わること

1 学校教育目標：「質実剛健」の気風を継承し、調和のとれた、社会に貢献できる創造的な人間の育成		自己評価	
2 重点目標 「質実剛健」の気風を継承し、「正しく、強く、明るく」を校訓に文武両道を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、調和のとれた、創造的な人間を育成する。	(1)品位ある生活習慣の確立	①制服に誇りを持ち、美しく着こなすようにする。【生徒課】 【学校説明】昨年以上に職員意識の統一を図り、全職員で指導に当たってきた。具体的な指導ポイントをイラストで作成し、季節ごとに職員、生徒に配布し徹底させるようにした。 ②時間を守ることを意識させ、規則正しい生活習慣を身に付ける。【生徒課】 【学校説明】時間を意識させるように、朝の昇降口や階段での指導を実施。授業開始時刻の徹底を図るために、職員も早めに行動を始めるようにしている。	B
	(2)三学期制の定着と学力の保障	①年間行事予定を検討し、三学期制の学期末における効果的な指導方法を検討する。【教務課】 【学校説明】三学期制となり、学習成績を評価する機会が増え、生徒に対する進路指導や学習指導がよりきめ細かくなった。成績不振者に対しては、学期末に特別指導期間を設け、一定期間学習指導をした後に追テストを実施して学習成果を確認した。 ②シラバスの活用の実態を調査し、活用を広める。【教務課】 【学校説明】全職員に、新入生指導や年度当初の授業でシラバスを使って年間授業計画や学習方法を指導し、評価方法について説明した。また年度途中にも学習進度などシラバスで確認しながら学習指導するよう要請した。	A
			B
			A
			B
			A

学校関係者評価委員会から	
A	指導ポイントをイラストでわかりやすく示すなど、指導に工夫のあとが見られる。制服に異装がないなど、職員の意識が一つの方向に向かって指導している様子が伺える。制服に誇りを持たせることは愛校心を育むのによい。家庭の力も必要なので、連携をとりたい。
B	生徒が学校へ行くことが楽しいと感じられることが大切である。そのためには分かる授業、楽しい授業であることが重要で、そうすれば時間はしっかり守れる。また、時間を意識させるために、チャイムをなくすることも考えられる。無意味な遅刻がゼロとなるよう更に徹底した指導をお願いしたい。
A	評価が意味をもつ指導をしていきたい。三学期制になり、各学期の学業成果がわかるようになるので、より細かに生徒の把握と指導ができるようになって、大変よかった。上位者に高い志をもたせ、さらに成績をのばしていく方策を工夫していく必要がある。
A	シラバスを使って職員と生徒が学習計画を共有し、進んでいるようで心強く感じる。シラバスが単なる計画、進度表ではなく、活用されるものでありたい。3年間のスパンでシラバスの内容を毎年検討して修正し、真に生徒の学習の目安になるように更に工夫してほしい。

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価
1 教育課程 学習指導	(1)確かな学力の育成 【市共通項目1】	①家庭学習時間の確保と家庭学習習慣の定着を図り、主体的な学習への取り組みを促す。【各学年】 【学校説明】〔1年部〕各担任が年間を通じて、学習時間調査を実施し、個人面接とおしてアドバイスした。また、各教科担当から、家庭学習を計画的に出してもらい、提出物の期限厳守を徹底した。 【学校説明】〔2年部〕家庭学習の充実のため、4月から毎日の学習時間調査を実施し、担任とクラスの生徒との面接の材料にした。9月以降、学習時間の上昇が目立つようになった。 【学校説明】〔3年部〕具体的学習内容の提示と学習計画の作成 ①ゴールデンウィーク前後の学習内容の提示(4月下旬) ②部活引退～夏休みの学習内容の提示と学習計画(6月上旬) 学習時間の推移 平日 3月66分→①→5月93分→②→6月110～140分 休日 3月118分→①→5月119分→②→6月198～228分	A
		②「チャレンジする生徒」「自ら学び、考え、行動する生徒」を育成する。【各学年】 【学校説明】〔1年部〕高校生活のスタートの学年ということで、服装・身だしなみや、挨拶など、日常生活のマナー・ルールを教え、なぜ大切なのかを、HRや集会を通じて伝えてきた。(「型づくり」の徹底) 【学校説明】〔2年部〕ポイント制を導入し、1年間で、自らの進路実現に関する大学の出張授業、公開講座、オープンキャンパス、大学説明会などに参加した生徒が94%に達した。 【学校説明】〔3年部〕 ①計画的BFの実施(BFの意義、学部学科調べ、進路希望調査、模試の振り返り卒業生体験談、出願から決定まで、小論指導など) ②面接指導、集会指導 ③授業改善、授業公開、研究授業を実施し、学力の保障を図る。【教務課】 【学校説明】5月、10月に授業公開を行い、多数の本校保護者、中学生とその保護者に参観いただいた。授業改善、研究授業については研修課と連携して実施した。	A
			B
			A
			B
			A
			B
			A
			B
			A
2 生徒指導	(2)道徳教育の充実 【市共通項目2】	①交通ルールを遵守し、自他を尊重する心をはぐくむ。【生徒課】 【学校説明】昨年の25件に比べ交通事故件数は減少傾向にある。(12月18日現在で11件)しかし並進などマナーの悪さは各所から指摘されており、さらに改善が必要。	B
			A
3 進路指導	(3)特別活動の充実 【市共通項目3】	①生徒主体の委員会活動や環境により配慮した文化祭を充実する。【生徒課】 【学校説明】各行事では生徒会を中心に生徒が積極的にかかわり、企画・運営をすることができた。	A
			B
2 生徒指導	(1)一人一人を大切に した指導 【市共通項目4】	①校内校外を問わず、全職員が積極的に生徒指導に参加する。【生徒課】 【学校説明】職員の意識は高まっているが、まだ温度差がある。	B
			A
			B
3 進路指導	(1)進路指導の充実	①キャリア教育の視点に立つ進路支援を充実する。【進路課】 【学校説明】BFの時間(総合的学習の時間)の3年間の実施計画を前年度中に作成し実行している。またBFに加えて3ポイント制により、オープンキャンパスやナース体験等校外での活動を奨励している。	A
		②進路に関する情報や適切な資料を提供する。【進路課】 【学校説明】各社で発行する諸資料から本校生徒にふさわしい資料の選定と配布、BFの時間を使い資料の読み方、使い方等のきめ細かい指導を心がけている。また、志望校決定に向けて、諸書籍から学校独自の進路室だよりを作成し、大学等のどのような点に気をつけて情報収集し、志望校としていくかなどの情報提供に努めた。	B
			A

学校関係者評価委員会から	
A	個人面接を通じて、生徒の学習状態、生活面、行動面を教師と共有することは大変、必要なことである。各学年ごとに頑張っている様子がわかる。昨年度よりも具体的になっているところが評価できる。 勉強は自分でするものであり、目標を持って学校で、家庭で主体的に学習する必要がある。家庭学習の時間が増えていくことが大切であろう。家庭学習時間の絶対量を増やすよう授業や宿題の内容を工夫し、毎日の家庭学習時間調査も、HR担任が各自にコメントをつける等、きめ細かな指導で上手に活用すれば、さらに学習時間が増えてくると思われる。
A	昨年度より、一歩前向きな目標がよい。それぞれ具体的な試みがなされている。2年部のポイント制、3年部の計画的なBFの実施など、評価できる。 3年間を見通した指導がなされているように思う。オープンキャンパス等に参加する生徒が増えているのは目的意識が高まっているからである。 1年生に生活指導が徹底指導できれば、3年後の進路指導が順調にいくと思われる。余力のある2年の夏休みにも志望校を見学させたほうがよい。オープンキャンパスに8割が参加したことはよいことである。
B	10月の授業公開では、3年で問題を解くだけの授業や、生徒の自発的な態度があまり感じられない授業があった。授業研究にはテーマをしばったポイント評価をお互いにしたらどうか。各教科の必要性、面白さ、不思議さなど伝えるようにしたい。教育機器等の活用を図りながら、楽しく分かる授業に向けて更に改善してほしい。教師の授業の力量の差を縮めるよう、教務課・研修課は尽力し、生徒に真の実力をつける授業を目指してほしい。
B	交通ルールに関しては、社会の一員として違反したら罰則を受けることは当然であるということ意識付けたい。 高校生の交通マナーの悪さは目立っている。事故につながることを願うばかりである。即効薬はないので、大切なことを繰り返し、繰り返し粘り強く、生徒に認識させ指導していくしかない。
A	文化祭では生徒が伸び伸び行動していた。来客への対応もよかった。充実した内容の展示もあり大変活発な楽しい文化祭であった。一方で、展示会場での生徒からの説明がなく、訴えるものがあまり感じられない展示もあった。
B	校外での挨拶はよくできている。基本的な生活習慣は家庭と一緒に指導していくことが大切である。学年とホームルーム担任、生徒課が共通理解のもとチームで行動できれば、生徒の信頼感が増し、指導が順調にいく。
A	積極的に外部に出ているいろいろな体験をしているところがよい。生徒が様々な体験をし、その中から自分に合った進路が選択できる体制ができつつあるようだが、更なる充実を望む。3年間のスパンでとらえた視点で、生徒にベストの進路決定をさせる強い意思と行動力をもって、生徒に接してほしい。
A	進路課がきめ細かい指導をしていることを評価する。大学進学実績等につながるよ。各種の情報提供とともに、個々に合ったきめ細かな対応が必要である。「進路便り」を定期的に発行して、生徒や保護者の心に響く充実した内容で生徒の進路意識の高揚を図ってほしい。

大項目	中項目	評価指標	自己評価
4 安全管理・指導	(1)学校安全システムの構築 【市共通項目5】	①防災管理計画を見直し、地震防災、津波対策等について検討する。 【総務課】	A
		【学校説明】 「非常災害等対応マニュアル」を作成し「地区別集会」「地震防災訓練」「防火避難訓練」を予定通り実施できた。	
		②施設面において、生徒が安心・安全に学習できる環境を維持する。 【事務室】	A
5 保健管理・指導	(1)健康教育の充実 【市共通項目6】	①定期健康診断・保健委員会等を通して、生徒の自己健康管理意識を高める。 【保健環境課】	A
		【学校説明】 タイムリーな話題を提供することで、健康管理の意識を高める努力ができた。	
6 特別支援教育	(1)学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目7】	①教育相談室と保健室の関係を密にし、心のケアの指導を充実する。 【保健環境課】	A
		【学校説明】 相談件数は例年並みだが、継続指導を要する案件が増加しているように思われる。また保護者の相談が増加した。	
7 組織運営	(1)組織・運営の改善 【市共通項目8】	①情報セキュリティ実施マニュアルを周知し、情報管理の徹底を図る。 【管理職】	A
		「静岡市立高等学校情報セキュリティ実施手順」を4月、11月の2度にわたって改訂(Ver3.0→Ver4.0→Ver4.1)し、より現状に即した内容とした。手順に基づき、確認事項について職員会議で再度周知し、情報管理の徹底を図った。	
8 研修	(1)研修体制の充実 【市共通項目9】	①新学習指導要領に対応した授業展開を検討・協議する。【研修課】	A
		【学校説明】 4月には、『言語活動の充実』について各教科で検討した。それらを踏まえて職員研修を行い、グループごとに様々な意見や提案が出された。 また10月の授業研修週間では、多くの先生方がお互いの授業を見合い、意見等を交換した。	
		②生徒や教師が本と出会い、本の楽しさや大切さを感じ取ることが出来るように図書館の環境を整え、読書の奨励に努める。【図書課】	A
		【学校説明】 図書館ニュースを毎月発行しクラス掲示するとともに、図書委員の手による本の紹介などを生徒の目に付きやすい場所に掲示し、本への関心を高めるように努めた。 3年生を中心に放課後の学習の場としても多く利用されている。	
9 保護者・地域住民等との連携	(1)信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	①ホームページをリニューアルし、広く学校の活動内容を公開する。 【広報課】	A
		【学校説明】 学校ホームページのデザインを変更するとともに、学校行事の様子を写真を用いて広く公開した。4月から9ヶ月間の訪問者数は延べ約88,000人である。	
		②メールシステムやインターネット等を利用し、確実に素早い情報提供を行う。【広報課】	A
		【学校説明】 メールシステムは9ヶ月間で430件の利用があった。また、海外研修など遠く離れた場所での生徒の活動の様子を保護者が見て安心できるように写真とコメントを含めて当日にインターネット公開するなど、早く確実に正確な情報伝達を行った。	
10 施設設備	(1)リサイクルや省エネの推進	②校舎内外の清掃と美化をさらに進め、資源の節約も図る。 【保健環境課】	B
		【学校説明】 経費との関係で資源の節約は更なる努力が求められるところである。充実した施設を長くきれいに使用するために清掃指導を徹底したい。	
		②使用していない教室の消灯、エアコンの適切な温度設定等により、節電に努める。【事務室】	A
		【学校説明】 昨年度に引き続き「節電対策2012」を策定し節電に努めた。目標の平成22年度対比12%減を達成する見込みである。(12月末現在)	
11 科学探究科	(1)科学探究科指導の充実	①「探究プログラム」と「CDプラン」を計画し、実施する。 【科学探究科】	A
		【学校説明】 昨年よりゆとりを持って計画を立てることができ、また、生徒の事前、事後指導をしっかりと行うことができた。	
		②大学や企業との連携を模索する等により、「課題研究」を計画し、実施する。 【科学探究科】	B
		【学校説明】 大学との連携をもっととることができればよかった。担当の先生方にはお願いしたが、結果的に連携(協力)がとれたのは2グループだった。	
		③各種奨励金への申請し、生徒の研究や発表を支援する。【科学探究科】	B
		【学校説明】 申請をしたが通らなかった。しかし、市からの予算もあったため、困ることはなかった。	
④各種研究発表会に応募し、生徒たちの探究心を高める。【科学探究科】	B		
【学校説明】 県立大学が主催する環境フォーラムに、ポスターセッションで参加した。次年度、今年度の課題研究の中で、優秀なものを応募したい。			

学校から 経営のまとめ(成果と課題)

・平成24年度の本校の取り組みについて、委員の皆様から、貴重な意見やアドバイス、理解ある評価をいただいた。
・今年度は、品位ある生活習慣の確立を生徒指導の重点に位置づけ、朝の昇降口での挨拶や声かけなどをとおして、規則正しい生活習慣の確立と品位ある身なりの習慣化に取組んだ。また、学習面では三学期制の定着と学力の保障を重点に位置づけ、授業公開や授業評価アンケート、ICTの活用などを通して言語活動の充実など新学習指導要領への対応と魅力ある授業づくりに取組んできた。
・次年度以降も授業、学校行事、部活動をとおして、確かな学力、豊かな情操と道徳心、健やかな身体の育成を目指し、教育活動の充実を図っていく。

学校関係者評価委員会から

A	防災関係の指導は、生きていく上で最も大切なことかもしれない。高校生の地域防災訓練への参加が形骸化している感があるので、防災計画を常に見直し、意識を高め、積極的に参加する生徒をさらに増やしていきたい。この地域は液状化が心配である。
A	予算があるので、その中でよりよい学習環境をつくっていただきたい。年数を経た施設の修繕は、生徒の安全面から大変重要である。急ぐものから順次実施すべきである。施設の定期点検をよろしく願います。
A	健康は全ての基本であるという意識をもたせることが大切である。規則正しい生活習慣を身につけさせることが、家庭学習を充実させていくことになる。保健委員会が研究テーマを設けて、文化祭や学校集会で発表するようにしたい。治療率など数値目標を設定して評価したらどうか。
A	保健室登校がなくなるなど、心のケアの必要な生徒が減ってきていることは喜ばしい。家庭との連携や保護者の相談にも積極的にかかわってほしい。生徒のメンタル面でのフォローを更に充実させ、不登校ゼロをめざしたい。研修会は定期的に行ないたい。
A	情報セキュリティが徹底されることが望まれる。マニュアルを現実に即して改訂したことはよい。さらにきめ細かく毎年見直ししてほしい。組織がきちんと機能していれば、情報管理も徹底される。そういう組織にしてほしい。
A	教師一人ひとりの力量を結集して、3年間の教科指導をどう組み立てるかを教科で検討し、その上で個人の創意工夫を生かしてほしい。職員研修を充実させ、質の高い教師集団を作っていくことが大切である。それが、生徒の力に結びついていく。
A	図書館の雰囲気は大変よい。熱心に自習している様子も見受けられる。情報のあふれる社会の中で、本を読み、考える時間をもつことが、一番必要なことと思う。書物から学ぶことがいかに大きいか、書物を身近に置く習慣をつけてほしい。生徒の自主学習能力を育成するために、あらゆる授業をサポートするのが図書館の使命である。多様化する教科内容に対応すべく良書を整備し、授業と連動した利用を心がけたい。
A	ホームページがよく更新され、情報がわかりやすく掲載されている。担当は大変であるが、頑張ってください。情報発信は学校そのものの宣伝であり、大きな効果を持つ。更に充実させていきたい。各高校もホームページに力を注いでいるので、常に新しく精選した内容でわかりやすく市高の特色を理解していただけるよう努めてほしい。
A	メールシステムやインターネット等を利用した情報発信は、よく機能しているように思われる。台風や感染性疾患の対応などに役立ってよい。緊急時の連絡はもちろん、さまざまな情報を早く正確に提供してほしい。
A	学校周りの樹木の剪定を実施され、清掃もよくされているので、美しい環境が整ってきた。清掃を形式的ではなく「美化」の心をもって行ないたい。授業内容の充実に関するプリントの作成や印刷等は除いて、それ以外の資源の節約は工夫してほしい。
A	教室が不在になるときの消灯は生徒各自が率先して行なうよう指導を徹底したい。節電については引き続き取り組んでいきたいが、定時制の校舎の入り口、廊下、階段等いつも暗いと感じている。職員、生徒の休養も兼ねて、夏休みに数日、休業日を設けて一斉に休むのはどうだろうか。
A	いよいよ、来年度は3学年揃うことになるので、2年目、3年目と更に充実したものにしよう努力してほしい。一期生の進路実現の結果が科学探究科の将来に大きく影響する。3年生の学力向上と志望大学等合格のための手厚い指導が望まれる。
B	大学や社会施設との連携をはかりたい。夢を育む講演会なども数多く企画したい。なかなか大変なことだとは思いますが、積極的に外に向かって働きかけをしてほしい。
B	生徒が興味をもつもの、価値ある研究のための予算等、十分とって伸び伸び研究発表をさせてほしい。
A	実績を積み上げ、より質の高いものにしていく努力が大切である。そのことによって、発表する機会も増えていく。成果が上がることを期待している。理数以外の学力も向上させ、高い志をもった進路実現を目指すよう指導してほしい。

学校関係者評価委員会まとめ

生徒の規則正しい生活習慣の定着や進路指導における3年間を通じた指導が行われており、職員の意識が一つとなって工夫された学校づくりが進められている。また、それらをホームページや学校評価書等で積極的に情報発信されており、学校内でのきめ細やかな生徒への指導が行われていることがわかる。
来年度は、科学探究科が3学年揃い、注目される年度となる。生徒に合った進路選択の充実や交通ルール等の社会の一員としての意識の向上、質の高い教育集団の形成等学校と家庭・地域が連携した学校づくりを望む。